

平成 20 年度一般会計当初予算のポイント

I 平成 20 年度一般会計の姿

- ★ 平成 20 年度一般会計当初予算規模は、対前年度 0.7%増の 543 億 6 千万円
 ただし、借換債を除くと、対前年度 0.5%減の 537 億 2 千万円で新市として初のマイナス

	H20	H19	H18
当初予算額	(537 億 2 千万円) 543 億 6 千万円	539 億 9 千万円	(536 億 2 千万円) 536 億 3 千万円
対前年度比	(▲0.5%) +0.7%	(+0.7%) +0.7%	(+11.5%) +11.1%

※()は借換債を除いた数値とそれに基づく比較

なお、国の平成 20 年度一般会計予算伸び率 0.2%
 平成 20 年度地方財政計画伸び率 0.3%

II 歳入

- ★ 市税は、対前年度 +2 億 1 千万円・0.9%増の 221 億 6 千万円で 3 年連続のプラス

	H20	H19	H18
当初予算額	221 億 6 千万円	219 億 5 千万円	204 億 8 千万円
対前年度比	+0.9%	+7.2%	+1.6%

- ★ 地方特例交付金は、住宅借入金等特別税額控除による個人市民税の減収を補てんする減収補てん特例交付金の創設等により、対前年度 +3 千万円・11.4%増の 2 億 5 千万円
- ★ 地方交付税は、「地方再生対策費」の創設等により、対前年度 +5 千万円・0.4%増の 118 億円
- ★ 市債は、対前年度 +3 億 9 千万円・8.7%増の 49 億 5 千万円

借換債、臨時財政対策債を除くと、対前年度 ▲1 億 5 千万円・5.0%減の 27 億 8 千万円

★ 財源不足に対しては、基金の取り崩しにより対応

財政調整基金繰入金は、対前年度 ▲4 億円・23.5%減の 13 億円を計上

Ⅲ 歳出

★ 義務的経費は、対前年度 +6 億 2 千万円・2.4%増の 267 億 8 千万円（借換債を除いた場合▲2 千万円・0.1%減の 261 億 4 千万円）。投資的経費は、対前年度 +2 億 8 千万円・5.5%増の 54 億 3 千万円。その他経費は、対前年度 ▲5 億 3 千万円・2.3%減の 221 億 5 千万円

※義務的経費について

- ・ **人件費**については、退職者が増加するものの、職員削減に伴う給与費の減額等により、対前年度 ▲1 億 5 千万円・1.3%減の 112 億 2 千万円。
- ・ **扶助費**については、制度改正や利用者増に伴う障害者福祉費の増等により、対前年度 +1 億 7 千万円・2.1%増の 84 億 3 千万円
- ・ **公債費**については、借換債等に係る繰上償還により、対前年度 +5 億 9 千万円・9.0%増の 71 億 3 千万円。（借換債分を除いた場合、対前年度 ▲5 千万円・0.7%減の 64 億 9 千万円）

※投資的経費について

- ・ **普通建設事業費**については、健診センター建設や緩和ケア病棟等建設が完成したものの、松阪駅西地区市街地再開発事業費、中学校給食センター等建設事業費等を計上したことにより、対前年度 +2 億 9 千万円・5.6%増の 54 億 2 千万円

※その他経費について

- ・ **補助費等**については、松阪地区広域衛生組合分担金や公共下水道事業会計繰出金の減額等により、対前年度比 ▲3 億 7 千万円・4.3%減の 81 億 4 千万円
- ・ **投資及び出資金**については、緩和ケア病棟等建設に係る松阪市民病院事業会計への出資金の皆減等により、対前年度比 ▲3 億 7 千万円・52.9%減の 3 億 3 千万円
- ・ **繰出金**については、後期高齢者医療制度の施行に伴う後期高齢者医療事業特別会計繰出金の新規計上等により、対前年度比 + 4 億 7 千万円・11.0%増の 47 億 6 千万円

IV 主な財政指標

★ 一般財源総額

387 億 6 千万円（平成 19 年度＝386 億 9 千万円・対前年度 0.2%、地方財政計画＝＋1.1%）

注）この場合の一般財源とは市税、地方譲与税、地方特例交付金、地方交付税、臨時財政対策債と県からの交付金の合計である

★ 一般財源比率

68.5%（平成 19 年度＝68.7%、㊸地方財政計画＝68.4%、㊹地方財政計画＝68.1%）
（借換債を除いた場合 69.3%）

注）この場合の一般財源とは市税、地方譲与税、地方特例交付金、地方交付税と県からの交付金の合計である

★ 市債依存度（臨時財政対策債を含む）

9.1%（平成 19 年度＝8.4%、㊸地方財政計画＝11.5%、㊹地方財政計画＝11.6%）
（借換債を除いた場合 8.0%）

★ 借入金残高（平成 20 年度末見込み）

587 億 4 千万円（平成 19 年度末見込み＝598 億 8 千万円）

V 総合計画に基づく事業の推進

★ やすらぎのある安全なまちづくり

今日の市民生活にあっては、社会情勢や生活様式の変化により、日常の災害や交通事故、犯罪などさまざまな問題が複雑化、多様化しています。また、大規模な自然災害の発生が懸念される中で、市民の不安はますます高まっています。これらさまざまな災害や有事から市民の生命や財産を守るため、防災、防犯、消防および住民保護対策の強化など総合的な対策に努めることでやすらぎある安全なまちをめざします。

- ・ 一般木造住宅耐震診断事業費 5,799【千円】
- ・ 防災無線整備事業費 207,040
- ・ 国民保護法推進事業費 339
- ・ 交通死亡事故ゼロ対策事業費 6,533
- ・ とまといず交通安全強化事業費 8,389
- ・ 消防団機構改正施設整備事業費 17,105
- ・ 小学校防災防犯対策事業費 6,702
- ・ AED設置事業費 11,000

- ・ 放課後児童クラブ施設耐震事業費 671
- ・ 保育園耐震事業費 23,097
- ・ 児童センター耐震事業費 1,700
- ・ 橋りょう耐震補強事業費 62,000
- ・ 香肌小学校屋内運動場耐震補強事業費 132,190
- ・ 三雲学校給食センター耐震事業費 693 ほか

★ 快適で機能的なまちづくり

快適かつ利便性のよい暮らしが求められる中で、その生活基盤である道路や市街地、上下水道の整備など、都市機能の充実をはかるとともに、景観や住環境に配慮した快適でゆとりある美しい都市景観を形成するため、計画的、総合的に都市基盤の整備を進めることにより快適で機能的なまちをめざします。

- ・ 地域公共交通システム事業費 71,233 【千円】
- ・ 松阪駅松阪港線道路整備事業費 300,000
- ・ 都市景観推進事業費 13,829
- ・ 中心市街地活性化事業費 6,014
- ・ 松阪駅西地区市街地再開発事業費 640,329
- ・ 松阪駅西周辺地区整備事業費 3,000
- ・ 中川駅周辺整備事業費（地域交流センター） 195,536
- ・ 公共下水道事業会計繰出金 2,491,338
- ・ 公営住宅ストック改善事業費 43,415
- ・ 若者定住住宅施設整備事業費 50,000 ほか

★ 環境に配慮するまちづくり

環境問題に対する市民の関心が高まる中で、だれもが安心して快適に暮らすことのできる、うるおいある豊かな環境づくりを推進するため、市民意識の高揚に努めるとともに、公害防止対策の推進や廃棄物の適正処理、新エネルギーの活用を進め、環境への負荷の少ない持続可能な資源循環型社会の実現をはかることで環境に配慮するまちをめざします。

- ・ 大気環境調査事業費 1,804 【千円】
- ・ 水質環境調査事業費 13,181
- ・ 家庭用新エネルギー設備設置支援事業費 9,390
- ・ 環境パートナーシップ会議事業費 1,498
- ・ 焼却施設整備事業費 213,000
- ・ 資源物集団回収活動補助金 12,499

- ・ 第一清掃工場焼却施設解体事業費 124,318
- ・ リサイクルセンター建設事業費 7,455
- ・ ごみ処理基盤施設建設事業費 13,000
- ・ 一般廃棄物処理基本計画策定事業費 3,000 ほか

★ 健やかでいきいき暮らせるまちづくり

市民が生涯にわたり、地域社会において福祉活動をはじめ多様な社会的活動に参加する機会を確保され、また健やかで充実した生活を営むことができる地域福祉の推進や、市民が子どもを安心して産み、健やかに育てることのできる福祉のまちづくりをめざします。また、高齢者が知識と経験を生かして地域社会の担い手として活躍でき、生きがいを持って元気に生活できるようなコミュニティづくりを進めることで健やかでいきいき暮らせるまちをめざします。

- ・ 中国残留邦人生活支援給付事業費 2,462 【千円】
- ・ 障害者相談支援事業費 28,710
- ・ 障害者グループホーム施設整備事業補助金 40,000
- ・ 老人クラブ活動助成事業補助金 14,400
- ・ 家庭児童相談室事業費 7,473
- ・ 次世代育成支援推進事業費 3,211
- ・ 放課後児童クラブ活動事業費 47,908
- ・ 放課後児童クラブ施設整備事業費 27,097
- ・ 病児・病後児保育委託事業費 6,904
- ・ 飯高東部保育園建設事業費 30,300
- ・ 母子保健事業費（妊婦健診の充実） 80,637
- ・ 要保護及び準要保護児童生徒援助事業費（小・中）（充実） 65,279 ほか

★ 質の高い教育・文化にふれあうまちづくり

自己の充実や生活の質の向上そして地域を支える人づくりを進めるために、幼児教育、義務教育、高校・高等教育またリカレント教育や生涯学習活動など生涯をとおして継続して学習できる教育環境の整備を通じて質の高い教育サービスの提供をめざします。

また、それぞれの地域には多様で貴重な歴史・文化資源などがあり、それを地域の特性として尊重しつつ、それぞれの歴史・文化資源などを一体的に活用することにより、新しい「松阪」としての文化の創出に努めることで質の高い教育・文化のふれあうまちをめざします。

- ・ 特別支援教育推進事業費 48,901 【千円】

- ・ 学力向上推進プロジェクト事業費 2,000
- ・ 学力アドバンス事業費 270
- ・ 山室山小学校校舎大規模改造事業費 139,481
- ・ 中学校給食配膳施設整備事業費 152,813
- ・ 公民館事業費 77,256
- ・ 竹川竹斎（2009年）生誕200年記念事業費 600
- ・ 原田二郎旧宅保存整備活用事業費 1,975
- ・ 長谷川家文書調査事業費 2,512
- ・ 松浦武四郎生誕190年等記念事業費 1,800
- ・ 中学校等給食センター建設事業費 671,805 ほか

★ にぎわいと活力あふれるまちづくり

南三重の交通の結節点としての利便性や、多様で豊かな自然などの地域資源を生かし、農林水産業、商業、工業、観光などの地域産業の振興や基盤整備に取り組みます。さらに、今後発展が期待される環境、情報通信、生活関連分野での産業振興に努めます。

また、コミュニティビジネスや地産地消の推進により、地域内で循環するしくみについても取り組みを進めるとともに、中心市街地の再生や海上アクセス松阪ルートを活用により、産業間や地域間の交流を促進し、新たな産業の創出に努めることでにぎわいと活力あふれるまちをめざします。

- ・ 茶加工施設整備事業補助金 160,500【千円】
- ・ 特産松阪牛推進事業補助金 4,000
- ・ 森林環境創造事業費 26,900
- ・ 野生動物との共生事業費 875
- ・ 特用林産振興施設整備事業補助金 95,096
- ・ 商工業交流・活性化事業費 1,500
- ・ 観光客誘致事業費 10,901
- ・ 企業立地等促進奨励金 89,727 ほか

★ 共生と交流を深めるまちづくり

人と人との交流をとおして安心して幸せに暮らせる社会が求められる中で、すべての人が、身体的状況、性別、年齢、国籍などを問わず自由に社会に参画し、一人ひとりの人権が尊重される社会の実現をめざします。

また、国境を越えて人や情報の動きなどが一層進むことが予想される中、市民や関係団体などが主体となった、すそ野の広い国際交流活動への支援を行うことにより、お互いを尊重しあう多文化共生社会の実現をはかります。

そして、これらの取り組みを効果的に支える環境づくりを推進するため、情報通信基盤の整備を進め、電子自治体の実現をはかることで共生と交流を深めるまちをめざします。

- ・ まちづくり型セカンドステージ大学事業費 2,470 【千円】
- ・ 地域SNS構築・活用事業費 718
- ・ 国際交流事業補助金 2,160
- ・ 友好都市交流事業費 3,943
- ・ 移動通信用鉄塔施設整備事業費 35,314
- ・ 住民協議会活動交付金 5,275
- ・ 多文化共生推進事業補助金 800
- ・ 交通施設バリアフリー化設備整備補助金 41,500
- ・ 外国人児童生徒いきいきサポート事業費 7,381 ほか